

e-learning による授業が主体となり、eALPS の利用が増加しております。現状の報告と皆様へのお願いを掲載いたしましたので、ご理解ご協力のほどお願いいたします。

また、eALPS への掲載物に関する著作権についてのお問合せが増えております。裏面に、その一部をご紹介します。

## contents

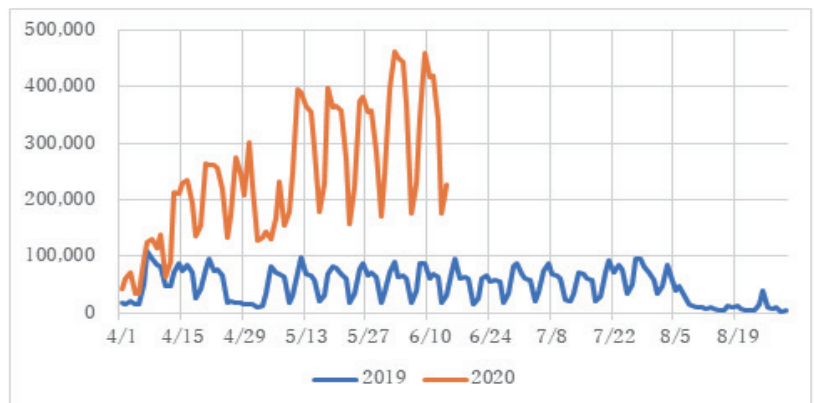
e-Learning center Newsletter No.35

- 2020年4月以降のeALPSの利用状況
- データダイエットへのご協力のお願い
- 著作権法改正でできるようになったこと・できないこと

## 2020年4月以降のeALPSの利用状況

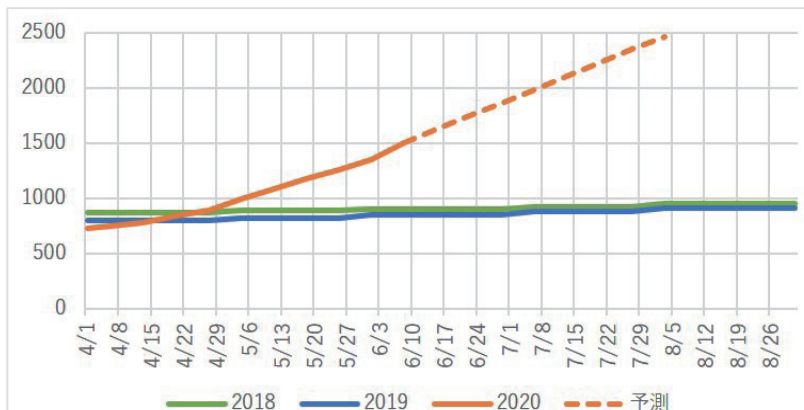
### ◆アクセス数 昨年度比 7～8倍のアクセス・土日は10倍以上

新型コロナウイルス感染症対策のため、ほとんどの授業科目がe-learning 主体となり、eALPS の利用頻度が急激に上昇しています。図1は、eALPS への日毎のアクセス状況です。4月前半は昨年度を多少上回る程度でしたが、4月半ばの共通教育の授業開始からアクセス数が増え始め、5月に本格的に遠隔授業が開始されたあとから急激にアクセス数が増加し、現在では昨年度の7～8倍のアクセスがあります。また、土日は10倍以上のアクセスがある時もあり、e-learning 主体の学習形態に移行しつつあることがわかります。



【図1 eALPS 日毎アクセス数 年度比較】

### ◆データ利用量 動画データのダイエットを！



【図2 eALPS ファイル使用量 (GB) 年度比較】



【図3 動画配信サービス使用量 (GB) 年度比較】

このような利用状況から、eALPS へのファイルアップロードも急激に伸びています。図2はデータ蓄積量の日毎の変化です。eALPS では、過去3年分のデータのみ蓄積していることと、動画配信サーバへの移行が進んでいることから、年度当初のデータ蓄積量は年々減少傾向にありました。しかし、今年度は4月末の時点で昨年度の蓄積量を超え、前期末には2.5TBに達する見込みです。

eALPS にアップロードされたファイルのうち、5月中旬の時点では、動画ファイルが全体の8割程度を占めていました。動画ファイルは、動画配信サーバへのアップロードをお願いしておりますが、この動画配信サーバの利用も例年の20～30倍程度に伸びています。図3は、この動画配信サービス使用量の昨年度との比較です。動画配信は、外部の動画配信クラウドサービスを使用しており、アップロードしたファイル容量と視聴時のネットワーク通信量との合計60TB以内という契約ですが、前期末を待たずに年度当初の契約量を超えます。

eALPS 本体も含め、動画データがかなりの容量を占めていることから、e-Learning センターでは、動画配信方法の変更を検討しています。

## データダイエットへのご協力をお願い

オンライン授業の拡大に伴い、授業映像（動画）が通信回線を圧迫する、またデータ通信・保管の契約容量を超過するなどの影響がでる恐れがあります。学術情報ネットワーク（SINET）を運用する国立情報学研究所（NII）からも、「データダイエットへの協力をお願い」が発信されています。

✓データダイエットへの協力をお願い：遠隔授業を主催される先生方へ（NII）

<https://www.nii.ac.jp/event/other/decs/tips.html>

本学におけるオンライン授業においても、データダイエットへのご協力をお願いいたします。

### データ量に配慮した授業実施の例

#### ◆授業の動画データを分割する

- ・短い動画を、数個掲載する程度にする。
- ・学生の集中力の観点からも、1つの動画は10分程度にする。

#### ◆不要なカメラをオフにする

オンライン会議システムを利用する場合、カメラをオンにし続けるとデータ量が増大する。

#### ◆映像（動画）だけではなく、他の方法を組み合わせる

- ・1つの授業時間を次の(1)～(3)に分けて授業を設計し、映像（動画）の部分を短くする。
  - (1) 教員と学生が双方向のやり取りを行う部分
  - (2) 教員からの一方向の情報伝達の部分
  - (3) 学生が問題を解くなどの主体的な学びを行う部分
- ・教材（PDF等）による説明やeALPSの「課題」を組み合わせ、授業を構成する。
- ・eALPSの「小テスト」を利用した理解度テストを行う。
- ・ディスカッションをeALPSの「フォーラム」で行う。

### 動画作成にあたってのお願い

◆データ容量は、できるだけ下記サイズ内に収めるようご協力をお願いいたします。

#### 動画教材作成の際の目安

- ・480p（解像度854×480 or 640×480, ビットレート500kbps）
- ・目安の数値で作成した動画データ容量の参考値（概算）  
338MB/90分、225MB/60分、113MB/30分、75MB/20分、37.5MB/10分



## e-learning

### 著作権法改正でできるようになったこと・できないこと

2018年5月の著作権法改正で創設された「授業目的公衆送信補償金制度」が2020年4月28日にスタートしました。新型コロナウイルスが感染拡大している2020年度の暫定的な処置として、国内外の全ての著作物を用いて作成した教材をe-learning用にサーバーにアップロードするなどの利用が無償にてできるようになっています。

ただし、次の点を守る必要があります。

- ・利用が「必要と認められる限度」であること
- ・「著作権者の利益を不当に害する」行為でないこと

Q：録画したテレビ番組を学生に見せたい。

A：番組の小部分を撮影しながら解説する場合は許諾が不要と考えられる。ただし、番組を「丸ごと」掲載するには、許諾が必要と考えられる。

Q：市販DVDを学生に見せたい。

A：市販DVDは通常コピーガードがかけられており、eALPSへのアップロードは難しい。現時点では、著作権者の許諾が必要と考えられる。

SARTRAS（授業目的公衆送信補償金等管理協会）Webサイト掲載の「補償金制度に関するFAQ」や国大協の「高等教育関係者向け説明資料」も参考にしてください。

Q：教科書として指定した市販図書や文部科学省検定済教科書を用いて教材を作成したい。

A：図表を引用して解説を加える（自己の著作物が「主」であって引用部分が「従」）のであれば、出典を明記するなど「引用」として可能。全受講生の購入を前提とする場合、「丸ごと」1冊ではなく、授業のために必要と認められる限度内での掲載ならば、期間を限定して可能。